

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	01	02	01	景観計画推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	09	景観まちづくり推進事業

実施計画整理番号	
401020101	
総合戦略 整理番号	32303

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
茂原市の景観が、憩い、安らぎ、趣きがあり、ふるさと景観として愛着が持てるようにめざす。	・景観資源52箇所の存在を市民に広めるなど、身近な資源に対する関心を高めてもらえるよう、案内看板の設置等を積極的に行う。 ・景観資源に選ばれた公共施設(富士見緑道)が、市民等に喜ばれ、愛されるよう、目に見えるかたちで整備を行う。
令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール
・景観資源案内看板を1カ所設置 ・「茂原市わが街ガイド」の周知	・都市計画マスタープラン推進市民会議と協働による景観資源の周知 ・第2回景観資源バスツアーの開催

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算									
事業費	千円	417	417	400	707	710	495	324	324	298	330	165	163
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	417	417	400	707	710	495	324	324	298	330	165

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	景観推進事業	330	165	163	概ね達成できた。引き続き広報活動に取り組む。
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		330	165	163	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・景観資源の周知を図るため、景観資源案内看板を1箇所設置した。(遊歩道と萩原公園)
- ・都市計画マスタープラン推進市民会議において、第2回景観資源バスツアーを実施した。八幡湖、藻原寺、茂原公園、橋樹神社の4箇所を巡り、参加者は、11名、バス添乗員と現地案内人として市民会議委員13名、市職員5名の計29名により市民と行政協働のもと行うことができた。
- ・周知方法: 広報、ウェブページ、フェイスブック、案内チラシ
- ・参加者アンケート: 全員が「よかった、次回も参加してみたい」という回答であった。

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	401020101
4	01	02	01	景観計画推進事業	7	03	01	09	景観まちづくり推進事業	

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	<ul style="list-style-type: none"> ・「茂原市わが街ガイド」による景観資源の情報発信に努めた ・景観資源案内看板を1箇所設置した ・都市計画マスタープラン推進市民会議で第2回景観資源バスツアーを実施した 					<ul style="list-style-type: none"> ・「茂原市わが街ガイド」の景観資源の閲覧回数は、156回/年 ・景観資源案内看板を1箇所設置(全52箇所の内設置済み計10箇所) 				
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由				
	A:妥当である	茂原の美しい景観の周知に努めた。		A:有効である	景観資源に関する情報発信により、景観資源に対する愛着心の一助となる。		B:やや効率的である	景観資源案内看板設置工事費として、1箇所あたり約16万円を要する。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
	A:実現している	景観資源案内看板を順次設置。「茂原市わが街ガイド」にて、景観資源の情報を発信している。		A:実現している	茂原市都市計画マスタープラン推進市民会議において委員の意見を取り入れている。		A:実現している	茂原市都市計画マスタープラン推進市民会議と協働で景観資源バスツアーを実施し、景観資源の周知に取り組んだ。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点									
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	景観資源を周知するため、景観資源案内看板を順次設置しており、52箇所のうち10箇所が設置済みとなった。また、都市計画マスタープラン推進市民会議と協働で第2回景観資源バスツアーを実施した。									
企画政策課での評価とその理由										
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	景観資源の存在を市民へ広めることに一定の成果があったと認められる。今後もふるさと茂原への愛着心の醸成のため、市民への効果的な周知等、創意工夫に努めていただきたい。									
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										

ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定					令和3年度成果指標(アウトカム)の設定				
	<ul style="list-style-type: none"> ・景観資源案内看板の設置件数 ・「茂原市わが街ガイド」を活用した景観資源の情報発信 					<ul style="list-style-type: none"> ・「茂原市わが街ガイド」の景観資源の閲覧回数 				
令和3年度における具体的な目標					令和3年度における事務事業スケジュール					
<ul style="list-style-type: none"> ・景観資源案内看板を1箇所設置 ・「茂原市わが街ガイド」の周知 					<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープラン推進市民会議と協働による景観資源の周知 					

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	01	03	01	地籍調査事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	12	地籍調査事業

実施計画整理番号	
401030101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 行政区域面積から土地区画整理事業実施区域を除いた約90km ² の約18万筆の土地について、地籍簿・地籍図を作成する。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 一筆ごとの土地について、所有者・地番・地目の調査並びに境界及び地積に関する測量を市内10工区に分け、計画的に実施する。
令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール
地籍調査の対象区域設定や年度別事業計画の策定を行う。	事業実施計画書を作成する。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	0	0	0	0	0	0	15	15	15	15	5,328	4,965
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	15	15	15	15	5,328

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	事業計画・事業準備	0	15	15	千葉県国土調査推進協議会負担金は、地籍調査を実施している市町村が加入し収める負担金である。
②	事業実施計画作成	0	5,313	4,950	実施計画を作成した。実施に向け予算確保に努める。
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		0	5,328	4,965	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

・事業実施計画書の作成

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	01	03	01	地籍調査事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	12	地籍調査事業

整理番号
401030101

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	地籍調査の対象区域設定や年度別事業計画の策定を行う。		事業実施計画書を策定した。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	地籍調査は、土地トラブルの防止、災害復旧、公共工事の円滑化、課税の適正化などに役立つものである。	A:有効である	地籍調査実施後は、土地トラブルの防止や土地取引の円滑化、土地資産の保全が図られる。	C:あまり効率的ではない	地籍調査事業は市内全域が完了するまで時間を要する。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	B:実現に向けて取り組んでいる	事業開始時に住民説明会を開催する。	B:実現に向けて取り組んでいる	事業が開始されれば、境界確認の立会いが必要となる。	B:実現に向けて取り組んでいる	関係機関や市民の協力を得ながら事業を進めていく。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	C:事業の対象や手法の見直しが必要(達成度3割以下)	事業実施計画書を作成したが、今後は、事業実施に向け、関係各課と協議しながら、予算の確保及び人員の確保する必要がある。				
	企画政策課での評価とその理由					
	C:事業の対象や手法の見直しが必要(達成度3割以下)	関係機関及び関係各課と計画的に事業実施するための体制等の確立に努めていただきたい。				
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						
ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定		令和3年度成果指標(アウトカム)の設定			
	事業開始に向け、関係各課と協議を行う。		事業開始に向け、関係各課と協議を行う。			
令和3年度における具体的な目標		令和3年度における事務事業スケジュール				
事業開始に向け、関係各課と協議を行う。		事業開始に向け、関係各課と協議を行う。				

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	02	01	01	茂原駅前通り地区土地区画整理事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	04	01	茂原駅前通り地区土地区画整理事業

実施計画整理番号	
402010101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 土地区画整理事業施行中の茂原駅前通り地区については、中心市街地としての商業・業務環境および住環境の整備を継続的に進めるとともに、集客力のある複合施設等商業核施設の事業化に向けて調査・研究を進めます。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) ・道路整備により、交通の利便性を向上させ、消防活動を容易とする。 ・地域の活性化および宅地の利用増進を図る。
令和2年度の具体的な目標 都市計画道路「高師町下井戸線」「おりひめ線」の整備に係る建物移転補償を早期に契約し年度内の移転完了を図るとともに、建物の共同化について合意形成に向け地権者と参加事業者の意向を確認する。	令和2年度スケジュール ・建物移転補償4件の年度内完了 ・建物の共同化を地権者と共に検討し合意形成を図る ・まちづくり推進協議会の会議開催

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	114,505	143,578	54,997	189,200	322,933	126,605	420,893	613,738	610,412	137,574	119,379	119,019	
財源内訳	国補助	千円	20,140	20,140	24,145	87,875	123,765	43,695	194,327	194,327	278,288	40,450	42,215	42,215
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	71,800	71,800	20,000	77,600	124,400	55,500	174,700	174,700	250,200	36,400	37,900	37,800
	その他	千円	904	904	974	0	944	987	904	904	904	0	0	0
	一般財源	千円	21,661	50,734	9,878	23,725	73,824	26,423	50,962	243,807	81,020	60,724	39,264	39,004

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	建物移転等	114,814	115,879	115,554	計画通り4件の建物移転を実施。今後は、都市計画道路の整備を優先して移転していく。
②	道路造成工事	0	0	0	
③	整地工事等	8,000	3,500	3,465	権利者へ土地を引渡すための整地工事を実施。支障なく引渡しを完了させる。
④	共同利用化検討調査	14,760	0	0	
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		137,574	119,379	119,019	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

①建物移転等 建物4件、動産移転1件を実施
 ③整地工事等 整地工事3件、公共汚水樹設置工事3件を実施

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	402010101
4	02	01	01	茂原駅前通り地区土地区画整理事業	7	03	04	01	茂原駅前通り地区土地区画整理事業	

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	<ul style="list-style-type: none"> ・建物移転補償件数 5件 ・共同利用化検討に伴う会議開催回数 2回 ・まちづくり推進協議会の会議開催回数 1回 					事業進捗率42.35%(0.75%上昇)				
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由				
	A:妥当である	中心市街地に相応しい秩序ある市街地整備を図るため、公共事業にて施行する必要がある。		B:やや有効である	28年を経過した現在で事業進捗率が42.35%であり、更なる事業の長期化が危惧される。		A:効率的である	国の補助制度を活用している。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
	B:実現に向けて取り組んでいる	「区画整理だより」の発行、ウェブサイトでの公表。		A:実現している	まちづくり推進協議会の会議への参加		B:実現に向けて取り組んでいる	まちづくり推進協議会及び共同利用化の会議において、まちづくりについての検討。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点									
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	本事業は、施行面積10.7ha、総事業費160億円、施行期間は平成4年度から令和13.年度となっている。平成5年3月の事業計画決定とともに着手し、平成7年度から早期完成を目指し建物移転や道路築造工事等の推進に努めてきた。進捗率は、28年を経過した現在、総事業費に対し42.35%であり事業の更なる長期化が懸念される状況となっている。また、地権者からは長期化している状況に対する不満等も多いことから、早期完成とともに中心市街地の活性化を目指した展開を図る必要がある。								
	企画政策課での評価とその理由									
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	商業・業務環境及び住環境の整備により、地域の活性化及び宅地の利用促進に資する事業と認められる。関係機関との連携を図るとともに、地域住民への丁寧な説明に努め、土地区画整理事業の確実な進捗が図れるよう、努めていただきたい。								
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										
令和3年度活動指標(アウトプット)の設定					令和3年度成果指標(アウトカム)の設定					
A:改善	<ul style="list-style-type: none"> ・早期に都市計画道路の整備を実施できるよう建物移転を進め、交通の利便性を向上させ、商店街や土地利用の活性化を図る。 				事業進捗率44.80%(令和2年度 42.35%)					
令和3年度における具体的な目標					令和3年度における事務事業スケジュール					
<ul style="list-style-type: none"> ・建物移転補償2件の年度内完了 ・まちづくり推進協議会の会議開催 					都市計画道路「高師町下井戸線」「ひこぼし線」の整備に係る建物移転補償を早期に契約し年度内の移転完了を図るとともに、次年度の補償予定者との良好な関係を築く。					

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	03	01	01	(仮称)茂原・長柄スマートIC設置事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	03	03	(仮称)茂原長柄スマートIC設置事業

実施計画整理番号	
403010101	
総合戦略 整理番号	43201

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	圏央道を有効利用するために、(主)千葉・茂原線にスマートIC(ETC車専用)を設置し、市民及び道路利用者の利便性の向上、また、企業立地や生産活動の活性化を図る。	(仮称)茂原長柄スマートインターチェンジ実施計画書に基づき施行する。
	令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール
	<ul style="list-style-type: none"> 道路付帯工事を実施する。 地下水位観測、事業効果検証を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 道路付帯工事を上半期に発注する。 地下水位観測、事業効果検証を上半期に発注する。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	267,834	312,624	227,679	175,880	165,026	156,294	284,859	264,676	263,629	15,120	20,968	11,612	
財源内訳	国補助	千円	126,447	126,447	106,128	85,940	48,750	79,706	149,250	138,572	138,572	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	55,000	55,000	49,200	38,400	27,900	33,000	61,600	55,000	55,000	8,600	0	0
	その他	千円	67,300	67,300	59,144	42,720	28,547	37,493	65,057	60,809	60,809	2,000	10,708	3,892
	一般財源	千円	19,087	63,877	13,207	8,820	59,829	6,095	8,952	10,295	9,248	4,520	10,260	7,720

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	スマートICの設置	15,120	20,968	11,612	R2.2.16に開通した、茂原長柄SICについて、工事、水位観測等を実施した。効果検証業務、用地測量を繰越した。R3年度完了見込。
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		15,120	20,968	11,612	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

地下水位観測、損失補償等、完成後の調査、補償を行った。
 茂原長柄SIC整備に伴う地元要望工事を実施した。
 整備効果検証業務、用地測量に関し、繰越をした。R3完了見込。

DO
(実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	403010101
4	03	01	01	(仮称)茂原・長柄スマートIC設置事業	7	01	03	03	(仮称)茂原長柄スマートIC設置事業	

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	令和2年2月16日に開通した、茂原長柄スマートICの効果検証業務を発注した。(契約繰越) 新型コロナウイルスの影響により、事業に遅れが生じた。					利用者数 1,036台/日(2020.10)÷2,100台/日(計画日交通量)=49.33%				
	妥当性の評価とその理由			有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由			
	A:妥当である 市民及び道路利用者の利便性の向上を図るため、公共事業にて施行する必要がある。			A:有効である スマートICを設置することで、利便性の向上及び、企業立地や生産活動の活性化が図れる。			B:やや効率的である 今後も国の補助制度を活用するとともに、コスト削減が図れるよう努める必要がある。			
	「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由			
	A:実現している 市公式ウェブサイトでの公表や地元説明会を行っている。			A:実現している 地区協議会を開催している。			B:実現に向けて取り組んでいる 自治会等と協議をおこなっている。			
	所管による評価とその理由、課題・問題点									
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)			新型コロナウイルスの影響により、用地測量、効果検証業務を繰越した。 令和2年2月16日に開通した茂原長柄スマートICについて、今後も利用増進に努める。						
	企画政策課での評価とその理由									
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)			茂原・長柄スマートICが開通し、利用者の利便性向上に成果を挙げていると認められる。今後は、効果検証を実施することで更なる利便性向上に努めるとともに周辺環境の整備等に努めていただきたい。						
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										

ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定					令和3年度成果指標(アウトカム)の設定				
	茂原長柄スマートインターチェンジ周辺の環境整備(要望数)					利用者数				
令和3年度における具体的な目標					令和3年度における事務事業スケジュール					
契約繰越した効果検証業務を完成させる。 道路付帯工事を実施する。					道路付帯工事を上半期に発注する。					

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	03	01	03	都市計画道路整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	02	01	街路事業費

実施計画整理番号	
403010301	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 都市計画道路「桑原梅田線」他1路線の事業認可区域内の道路を完成させ、市街地の交通緩和を目的とした補助幹線道路網の整備をする。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 事業認可区域内の街路事業用地を取得し、道路改良工事を実施する。
令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール
不動産鑑定評価・建物調査委託について早期発注に努める。 用地取得に向け地権者と交渉を行う。	不動産鑑定評価・建物調査委託を上半期に執行する。 用地取得及び建物移転補償を上半期に実施する。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	34,285	37,519	7,920	209,620	278,199	237,801	39,118	118,124	47,809	20,000	215,546	49,796	
財源内訳	国補助	千円	18,310	18,310	3,148	115,291	14,960	14,960	19,558	19,558	0	10,000	15,245	22,500
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	13,300	13,300	3,500	84,800	232,500	198,700	17,600	17,600	41,300	9,000	11,900	23,500
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,675	5,909	1,272	9,529	30,739	24,141	1,960	80,966	6,509	1,000	188,401	3,796

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	桑原八千代線の整備	20,000	158,688	3,830	用地取得、代替地処分に伴う不動産鑑定評価、用地測量を行った。今後も引き続き用地取得を進める。
②	小林浜町線の整備	0	56,858	45,966	用地、補償2件を行った。今後も引き続き用地取得を進める。
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		20,000	215,546	49,796	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

桑原八千代線 用地取得に伴う不動産鑑定5件 代替地処分に伴う不動産鑑定評価及び用地測量1件
 小林浜町線 用地取得に伴う不動産鑑定評価1件、建物調査3件、用地測量1件を実施し、用地取得及び補償2件を実施した。

PLAN(計画)

DO(実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	03	01	03	都市計画道路整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	02	01	街路事業費

整理番号
403010301

<p>令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況</p> <p>用地取得面積 桑原八千代線 0㎡ 小林浜町線 2名2筆 80.62㎡</p>	<p>令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況</p> <p>取得率 取得面積 桑原八千代線 9,338.69㎡ / 計画面積 15,335㎡ 60.90% 小林浜町線 2,212.92㎡ / " 3,452㎡ 64.11%</p>	
<p>妥当性の評価とその理由</p> <p>A:妥当である 都市計画道路として整備する事で、駅周辺の交通緩和が図れるため妥当である。認可区域には建築制限があるため、早期完成が望ましい。</p>	<p>有効性の評価とその理由</p> <p>A:有効である 完成後には駅周辺の交通緩和が見込まれる。</p>	<p>効率性の評価とその理由</p> <p>B:やや効率的である 用地購入にあつては不動産鑑定評価、損失補償については千葉県公共用地対策協議会の積算要領により算出しており、経費削減は望めない。</p>
<p>「情報の共有」の状況とその理由</p> <p>B:実現に向けて取り組んでいる 認可事業であることから告示行為を行っている。</p>	<p>「参加」の状況とその理由</p> <p>B:実現に向けて取り組んでいる 縦覧期間に意見聴取の機会がある。</p>	<p>「協働」の状況とその理由</p> <p>その他 権利者個々の交渉となるため、個人情報保護の観点から協働に適さない。</p>
<p>所管による評価とその理由、課題・問題点</p> <p>B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割) 計画路線において用地取得の進捗が図れた。交付金の追加要求があつたため、役務費、委託費、用地費及び補償費を繰越明許した。用地交渉にも多大な時間を要する為、事業認可時の計画通りに実施できない状況である。</p>		
<p>企画政策課での評価とその理由</p> <p>B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割) 市街地の交通緩和に資する事業と認められる。引き続き、計画的・効果的な事業実施に努めていただきたい。</p>		
<p>政策調整会議での評価とその理由</p>		
<p>庁議における方針</p>		

<p>令和3年度活動指標(アウトプット)の設定</p> <p>用地取得面積</p>	<p>令和3年度成果指標(アウトカム)の設定</p> <p>用地取得率 桑原八千代線 68.1% 小林浜町線 64.1%</p>
<p>令和3年度における具体的な目標</p> <p>不動産鑑定評価、用地測量、建物調査委託について早期発注に努める。 用地取得に向け地権者と交渉を行う。</p>	<p>令和3年度における事務事業スケジュール</p> <p>不動産鑑定評価、用地測量、建物調査委託を上半期に執行する。 用地取得及び建物移転補償を早期に実施する。</p>

CHECK (評価)

ACT (改善)

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	03	03	01	バス運行対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	11	バス運行対策事業

実施計画整理番号	
403030101	
総合戦略整理番号	43101

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 運行維持が困難となったバス路線について、学生や高齢者などの交通弱者及び通勤利用者の交通手段を確保する。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 運行するバス事業者に補助金を交付し、路線バスの運行を維持する。
令和2年度の具体的な目標 ・住民の交通手段の確保・維持 ・利用者数の確保	令和2年度スケジュール ・令和元年度にバス事業者と関係市町村で協議し定めた負担割合等に基づき補助金の交付を行う。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算									
事業費	千円	4,988	4,988	4,803	4,988	3,803	3,803	3,803	3,803	3,803	3,803	5,453	5,247
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	4,988	4,988	4,803	4,988	3,803	3,803	3,803	3,803	3,803	5,453	5,247

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	路線バス運行維持支援	3,803	5,453	5,247	・補助金を交付し、路線バスの運行維持を図った。 ・今後も支援を行う。
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		3,803	5,453	5,247	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
 ・路線バスの運行を維持するため、5,247,000円の補助金を交付した。
 (茂原白里線 2,347,000円、本納白子線 1,669,000円、茂原駅睦沢中央公民館線 1,231,000円)

PLAN(計画)

DO(実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	03	03	01	バス運行対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	11	バス運行対策事業

整理番号
403030101

<p>令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金の交付額 5,247,000円 ・補助金の交付対象路線数 3路線 	<p>令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況</p> <p>利用者数(路線全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茂原白里線 6,449人 ・本納白子線 9,997人 ・茂原駅陸沢中央公民館線 24,362人 	
<p>妥当性の評価とその理由</p>	<p>有効性の評価とその理由</p>	<p>効率性の評価とその理由</p>
<p>A:妥当である</p> <p>住民の交通手段の確保のため必要である。</p>	<p>A:有効である</p> <p>補助金の交付により、廃止予定であった路線の維持が図れる。</p>	<p>B:やや効率的である</p> <p>必要な施策であるが、特定の地域の施策となっている。</p>
<p>「情報の共有」の状況とその理由</p>	<p>「参加」の状況とその理由</p>	<p>「協働」の状況とその理由</p>
<p>A:実現している</p> <p>バス事業者と関係市町村とが協議し、お互いの負担割合等を定めている。</p>	<p>A:実現している</p> <p>バス事業者と関係市町村とが協議し負担割合等を定めている。</p>	<p>B:実現に向けて取り組んでいる</p> <p>市町村が支援や広報等で協力し、バス事業者は、鋭意努力する。</p>
<p>所管による評価とその理由、課題・問題点</p>		
<p>A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)</p>	<p>当該事業については、新型コロナウイルスの影響による減便のため、一部変更があったものの、おおむね計画通り執行され、目的とする路線の確保が図られた。</p>	
<p>企画政策課での評価とその理由</p>		
<p>A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)</p>	<p>住民の交通手段の確保・維持に一定の成果があったと認められる。引き続き、バス事業者及び関係市町村と連携及び協議し、市民の交通手段の確保に努めていただきたい。</p>	
<p>政策調整会議での評価とその理由</p>		
<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; background: linear-gradient(to top right, transparent 49%, #ccc 49%, #ccc 51%, transparent 51%);"></div>		
<p>庁議における方針</p>		
<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; background: linear-gradient(to top right, transparent 49%, #ccc 49%, #ccc 51%, transparent 51%);"></div>		

<p>令和3年度活動指標(アウトプット)の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行維持が困難な茂原白里線・本納白子線・茂原駅陸沢中央公民館線に対して補助を行うことで路線バスの運行を維持する。 	<p>令和3年度成果指標(アウトカム)の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茂原白里線・本納白子線・茂原駅陸沢中央公民館線バス利用者数
<p>令和3年度における具体的な目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の交通手段の確保・維持 ・利用者数の増加を目指す。 	<p>令和3年度における事務事業スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度にバス事業者と関係市町村で協議し定めた負担割合等に基づき補助金の交付を行う。

CHECK (評価)

ACT (改善)

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	03	03	02	地域公共交通運行事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	11	地域公共交通運行事業

実施計画整理番号	
403030201	
総合戦略整理番号	43101

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 交通空白地域の解消及び高齢者等の交通弱者の生活交通手段を確保する。	活動内容(目的を達成するために何をを行うか) 市民バス(定時定路線型)及び指定エリアにおけるデマンド交通(区域運行型乗合タクシー)による運行を実施する。また、茂原市地域公共交通会議を開催し、地域に即した輸送サービスの実現に向け関係事業者等と協議する。
令和2年度の具体的な目標 市民バスの利用者数の増 デマンド交通登録者数と利用者数の増 運賃収入以外の収入確保(有料広告)	令和2年度スケジュール 市民バス運行委託(長期継続契約)及びデマンド交通運行委託(随意契約)<4月>、デマンド交通運行委託(10月以降)の指名競争入札<5月>、地域公共交通会議の開催<7月、12月>

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算										
事業費	千円	25,808	25,808	24,494	25,808	25,691	25,016	25,822	25,822	25,266	26,267	26,029	25,325	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	9,790	9,790	9,269	9,790	9,078	9,637	9,640	9,640	10,180	9,640	9,699	9,499
	一般財源	千円	16,018	16,018	15,225	16,018	16,613	15,379	16,182	16,182	15,086	16,627	16,330	15,826

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	市民バスの運行	21,928	21,819	21,803	15,115人(前年比29.4%減)
②	デマンド型乗合タクシーの運行	4,094	3,965	3,391	利用者数1,776人(前年比0.2%減) 登録者数738人(前年比2.8%増)
③	地域公共交通会議の運営	245	245	131	2回開催(7月、12月)
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		26,267	26,029	25,325	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・市民バスの委託による運行(小湊鉄道株式会社)
- ・デマンド交通の委託による運行(都自動車株式会社)
- ・市民バス・デマンド交通共通回数乗車券の車内販売(販売価格1,000円(100円券・11枚)、2,000円(200円券・11枚))
- ・地域公共交通会議の開催(デマンド交通乗降場所の追加等)
- ・運賃収入以外の収入確保(有料広告・事業者2社)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	403030201
4	03	03	02	地域公共交通運行事業	7	03	01	11	地域公共交通運行事業	

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	・市民バス: 東部コース5.5便/日、北部、南部(五郷)各4便/日、南部(鶴枝)4.5便/日※平日毎日 運行日243日 ・デマンド交通: 8便/日(月・水・金) 運行日147日 ・地域公共交通会議2回開催(7月、12月) ・広報掲載2回(6月、9月)					・市民バス「モバス」及びデマンド交通「ふれあい」を運行計画に基づき運行。デマンド交通は乗降場所を追加して利便性向上を図った。 ・市民バスの利用者数は15,115人(前年比29.4%減)、デマンド交通は利用者数1,776人(前年比0.2%減)、登録者数738人(前年比2.8%増)であった。 ・有料広告による運賃収入以外の収入について確保(2社)を図った。				
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由				
	A: 妥当である		A: 有効である			B: やや効率的である				
	交通空白地域の解消及び交通弱者の交通手段の確保を目的とした事業であるため		交通空白地域における高齢者等の交通弱者の交通手段として利用されているため			運行計画の見直し時に効率化を図っている。				
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
A: 実現している		A: 実現している			B: 実現に向けて取り組んでいる					
都市計画課ウェブページに情報を掲載し、「わが街ガイド」でも情報を公開している。交通マップを市民バス車内や公共施設で配布している。		交通事業者や市民等で組織された地域公共交通会議で連絡調整を行っている。			市民、交通事業者、行政で協働の理念のもと、各々の役割を担うことで、持続可能な公共交通体系の構築を目指す。					
所管による評価とその理由、課題・問題点										
B: ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		市民バスについては、年間延15,115人、デマンド交通については、年間延1,776人の利用者があり、ある程度の成果をあげている。利用者数は、コロナ禍の中で、昨年度と比較し市民バスは大幅な減少となったが、デマンド交通はほぼ前年と変わらない実績となった。結果としては、市民バス及びデマンド交通の1日当たり110人の目標値には達しなかった。								
企画政策課での評価とその理由										
B: ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の減少はあるものの、交通弱者の生活交通手段の確保に一定の成果を挙げていると認められる。今後とも関係機関との連携を図りながら、利用者の増加のためのより効果的な実施方法を検討いただきたい。								
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										

ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定					令和3年度成果指標(アウトカム)の設定				
	・市民バス1日当たりの運行回数 ・デマンド交通の1日当たりの運行回数					・市民バス及びデマンド交通の1日当たりの利用者数				
令和3年度における具体的な目標					令和3年度における事務事業スケジュール					
市民バス及びデマンド交通の運行回数の維持 市民バスの利用者数の増 デマンド交通登録者数と利用者数の増 運賃収入以外の収入確保(有料広告) 運行ルート・ダイヤの見直し及び交通マップの作成					市民バス運行委託(長期継続契約)及びデマンド交通運行委託(随意契約)<4月>、デマンド交通運行委託(10月以降)の指名競争入札<5月>、地域公共交通会議の開催<6月、12月>					

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	04	01	02	住宅用省エネルギー設備等促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	07	04	住宅用省エネルギー設備等促進事業

実施計画整理番号	
404010201	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 住宅用省エネルギー設備等の設置を奨励し、地球温暖化防止の意識を高めることにより、市内における二酸化炭素の排出量を削減する。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 市内の住宅に住宅用省エネルギー設備等を設置する市民に対し、千葉県補助基準の範囲内で補助金を交付する。
令和2年度の具体的な目標 住宅用省エネルギー設備等の設置補助により、家庭におけるエネルギーの安定的な供給並びにエネルギー利用の効率化を図り、市内の二酸化炭素排出量の削減を図る。 太陽光発電システム30件、太陽熱利用システム3件、家庭用燃料電池システム15件、定置用リチウム蓄電システム29件	令和2年度スケジュール 4月広報・ウェブサイト掲載 4~3月補助金受付

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算									
事業費	千円	8,450	7,649	3,251	8,450	7,450	7,143	7,550	7,550	7,509	7,550	8,000	6,618
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	6,950	6,149	3,051	6,950	5,950	5,643	6,050	6,050	6,009	6,050	5,118
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	1,500	1,500	200	1,500	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	住宅用省エネルギー設備等設置促進	7,550	8,000	6,618	一定の成果を挙げた。引き続き促進を図る。
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		7,550	8,000	6,618	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

令和2年度住宅用省エネルギー設備等補助内訳
 住宅用太陽光発電設備 9件 668,000円
 太陽熱利用システム 0件
 家庭用燃料電池システム 15件 2,250,000円
 定置用リチウムイオン蓄電システム 37件 3,700,000円

PLAN(計画)

DO(実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	404010201
4	04	01	02	住宅用省エネルギー設備等促進事業	4	01	07	04	住宅用省エネルギー設備等促進事業	

令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況 令和2年度住宅用省エネルギー設備等補助件数 住宅用太陽光発電設備 9件 太陽熱利用システム 0件 家庭用燃料電池システム 15件 定置用リチウムイオン蓄電システム 37件	令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況 排出が抑制された二酸化炭素の量 37,443kg
--	--

妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	市内の住宅に住宅用省エネルギー設備等を設置する市民に対し、千葉県補助基準の範囲内で補助金を交付した。	A:有効である	住宅用省エネルギー設備等の設置を奨励することにより、地球温暖化の意識を高め、市内における二酸化炭素の排出量の削減を促進した。	A:効率的である	成果を維持したまま費用を削減する余地はない。

「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
A:実現している	市公式ウェブサイト、広報により制度の概要について周知している。	C:実現の余地がない	市民等の参加事業ではない。	C:実現の余地がない	市民等の協働事業ではない。

所管による評価とその理由、課題・問題点	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	住宅用省エネルギー設備等の設置補助により、市内における二酸化炭素の排出量削減を促進し、一定の成果を挙げている。引き続き事業の推進を図る必要がある。

企画政策課での評価とその理由	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	市内における二酸化炭素の排出削減の促進に一定の成果を挙げていると認められる。引き続き、市民への地球温暖化防止の意識向上を図るため、より効果的な周知等に努めていただきたい。

政策調整会議での評価とその理由	

庁議における方針	

令和3年度活動指標(アウトプット)の設定	令和3年度成果指標(アウトカム)の設定
住宅用省エネルギー設備等の補助件数	排出が抑制された二酸化炭素の量

令和3年度における具体的な目標	令和3年度における事務事業スケジュール
住宅用省エネルギー設備等の設置補助により、家庭におけるエネルギーの安定的な供給並びにエネルギー利用の効率化を図り、市内の二酸化炭素排出量の削減を図る。 太陽光発電システム20件、太陽熱利用システム1件、家庭用燃料電池システム15件、定置用リチウム蓄電システム30件	4月広報・ウェブサイト掲載 4～3月補助金受付

CHECK (評価)

ACT (改善)